



グループ社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」

## のせでん 春のこども自然体験学習 1万本のチューリップを使った 花びらアート制作

表紙は、5月3日に、能勢電鉄が妙見山において実施した「のせでん 春のこども自然体験学習～1万本のチューリップを使った花びらアートの制作～」の1シーンです。このイベントは、「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として、未来の地域社会を担う「次世代の育成」を目指し、こども達が自然や環境について体験・学習する機会を提供するために行ったものです。当日は、親子9組26名が参加されました。



私たちは、未来へつなぐ「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。



### チューリップの花びらで 花絵を作ろう!

ゴールデンウィーク真っ只中の5月3日。妙見山の「妙見の水広場」には1万本分のチューリップの花びらが集められ、花の香りに包まれました。参加したこども達は、能勢電鉄のスタッフと宝塚大学造形学部の先生と学生の皆さんのサポートの下、力を合わせて花絵を制作。こども達は両手いっぱいに花びらを掴み、「家でこんなことをしたら叱られちゃうね!」と、満面の笑顔で下絵に花を飾りつけていきました。



### みんなで食べると 美味しいね!

お昼には、能勢電鉄のスタッフのアドバイスの下、こども達自身でお米を洗って火をおこし、飯ごうでご飯を炊きます。そして、スタッフが用意した特製カレーでお昼ごはん。こども達もすっかりスタッフと仲良くなり、みんなで和気あいあいと

テーブルを囲みました。お昼を食べた後は、飾り付けを再開。そしてついに、縦横3mあろうかという2枚の花絵が完成。最後に、こども達はみんなで力を合わせて作り上げた花びらアートを前に、誇らしい顔付きで記念撮影を行いました。



発行：阪急阪神ホールディングス株式会社

〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目16番1号  
TEL:06-6373-5100 FAX:06-6373-5670

株主様のご意見・ご感想をお待ちしております。  
<http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/voice/>



この印刷物は、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証紙を使用しています。

# HANKYU HANSHIN Letter

株主通信

vol. 23

2012年6月発行



私たちは、未来へつなぐ「環境づくり」と「人づくり」に貢献します。

トピックス

## 「阪急うめだ本店前 コンコース」 今秋全面開通!

## 「新大阪阪急ビル」 まもなく完成。

ほか

〈連載コラム〉

## 歴史探訪

～阪急阪神沿線を訪ねて～

芦屋編

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに「HANKYU HANSHIN LETTER (VOL.23)」をお届けいたします。今回より株主の皆様にご理解をより深めていただくため内容を一新するとともに、送付回数を年4回から年2回に変更させていただきます。

さて、当社の2011年度の連結決算につきましては、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益のいずれも、前年同期に比べ増加いたしました。また、配当につきましては、配当政策に関する基本方針に基づき、一株あたりの配当金額を5円とさせていただきます。

次に最近の主な取り組みですが、本年11月のグランドオープンを目指して梅田阪急ビルの建替工事が順調に進捗している他、新大阪駅に直結する「新大阪阪急ビル」も、ホテル「レム新大阪」をはじめ、オフィス・商業施設・バスターミナル等からなる複合ビルとして完成間近となっております。引き続き完成に向けて鋭意工事を進めてまいりますので、是非ご期待いただきたく存じます。

今後も、グループ全体の一層の発展を目指して邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

阪急阪神ホールディングス株式会社  
代表取締役社長

角 和 夫



Q まず、2011年度の業績について、  
総括を含めてお聞かせください。

A 2011年度は、グループ全体の有機的な  
成長を目指して取り組みを進めました。  
前年度比で営業収益は増収、営業利益、経常利益、  
当期純利益は全て増益を達成することができました。

2011年度の当社グループを取り巻く環境は、東日本大震災の影響等による厳しい状況から緩やかに持ち直す動きがあったものの、欧州の債務問題や電力供給に対する懸念等により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような事業環境下においても、グループ経営理念の下、「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすべく、グループ経営機能を担う当社の下、中核会社を中心に、グループ全体の持続的かつ有機的な成長を目指して取り組みを進めました。



この結果、不動産事業において、マンション分譲戸数が前年度を上回ったこと等により、営業収益は6,497億3百万円となり、前年度に比べ109億33百万円(1.7%)増加し、営業利益は738億9百万円となり、前年度に比べ90億65百万円(14.0%)増加しました。また、経常利益は、持分法による投資利益が増加したこと等により653億93百万円となり、前年度に比べ188億99百万円(40.6%)増加し、当期純利益は、法人税等調整額が減少したこと等により392億52百万円となり、前年度に比べ211億83百万円(117.2%)増加しました。

先程も申し上げたとおり、経済情勢は、依然として先行き不透明な状況で推移しましたが、おかげさまで営業収益における増収と営業利益、経常利益、当期純利益全てにおける増益を達成することができました。

	2007年度実績	2008年度実績	2009年度実績	2010年度実績	2011年度実績
連結営業収益	7,523	6,837	6,533	6,388	6,497
連結営業利益	907	778	701	647	738
連結経常利益	749	574	504	465	654
連結当期純利益	6	206	108	181	393

※百貨店事業(阪神百貨店グループ)は2007年度上期まで連結子会社  
※億円単位の記載金額は億円未満を四捨五入して表示

(単位:億円)

Q

次に、中期経営計画の進捗状況についてお聞かせください。

A

以下の3点をグループ基本戦略と位置付け、持続的な成長と財務体質の改善の両立を着実に図っています。

【グループ基本戦略】

- ・各事業の競争力強化・利益水準の向上
- ・統合効果の徹底的な追求・発現
- ・財務体質の改善・資産利回りの向上

当社では、梅田阪急ビル建替等の大規模プロジェクトが完了する2012年度を目標年度とした「阪急阪神ホールディングスグループ2007中期経営計画」を2007年3月26日に発表し、以降毎年、事業環境の変化等を踏まえて見直しを行っています。

今回改めて取りまとめた2012年度の計画値(※)は、上記のグループ基本戦略に沿った取り組みを反映し、営業利益は、2011年度実績から42億円の増益となる780億円まで伸ばさせる一方、連結有利子負債総額は、2011年度実績より236億円少ない1兆1,600億円に抑制していきます。

この結果、財務健全性を示す指標である「連結有利子負債/EBITDA倍率」は、2012年度には8.5倍となり、2011年度実績(8.9倍)に比べて改善を図ることができる見込みです。

※2012年度の計画値はP.5表をご覧ください。

Q 2013年度以降の中期経営計画における考え方についてお聞かせください。

A 2015年度の計画値を、  
営業利益830億円、連結有利子負債総額1兆円とし、  
これまで目標として掲げてきた  
「連結有利子負債／EBITDA倍率7倍程度」の  
達成を改めて目指していきます。

2012年度の連結有利子負債／EBITDA倍率は、2011年度実績からの改善を見込んでいますが、現行の中期経営計画で掲げてきた「連結有利子負債／EBITDA倍率7倍程度」という目標は、2012年度までには達成できない見通しとなりました。

当社では、大規模プロジェクトの効果発現を通じた「財務体質の改善」、すなわち「連結有利子負債／EBITDA倍率7倍程度」の達成が、景気低迷に伴う事業環境悪化のため当初計画より遅れる見通しであるものの、この目指すべき方向性については堅持すべきと考えています。また、今後の事業環境が依然不透明な中で、当初掲げた目標を実現できないまま、引き続き大規模な戦略投資(※)を行うべきではなく、将来的には金利上昇のリスクも考えられることから、当面の間は連結有利子負債を更に削減することを優先すべきと考えています。

このため、現行の中期経営計画の計画期間を2015年度まで延長し、一定の戦略投資を継続的に実施しつつも、設備投資の総額は概ね減価償却費程度に抑制することで、「連結有利子負債／EBITDA倍率7倍程度」という当初目標の達成を改めて目指していきます。

※戦略投資＝新規投資や大規模リニューアル投資を想定

	2011年度実績(参考)	2012年度計画	2015年度計画
連結営業収益	6,497	6,700	7,000
連結営業利益	738	780	830
連結経常利益	654	600	700
連結当期純利益	393	300	400
連結EBITDA	1,335	1,370	1,420
連結有利子負債／EBITDA倍率	8.9倍	8.5倍	7.0倍
連結有利子負債	11,836	11,600	10,000
連結D/E レシオ	2.3倍	2.2倍	1.6倍
連結ROE	7.9%	6.0%	6.5%

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋阪急・阪神の経営統合に伴うのれん償却額  
※D/Eレシオ＝有利子負債／自己資本 ※億円単位の記載金額は億円未満を四捨五入して表示

(単位：億円)

Q 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 2011年度は、株主の皆様のご支援のおかげをもちまして、  
厳しい事業環境の中においても  
堅調な業績を収めることができ、感謝申し上げます。  
株主の皆様におかれましては、今後もより一層の  
ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2011年度は、株主の皆様のご支援のおかげをもちまして、厳しい事業環境の中においても堅調な業績を収めることができ、感謝申し上げます。

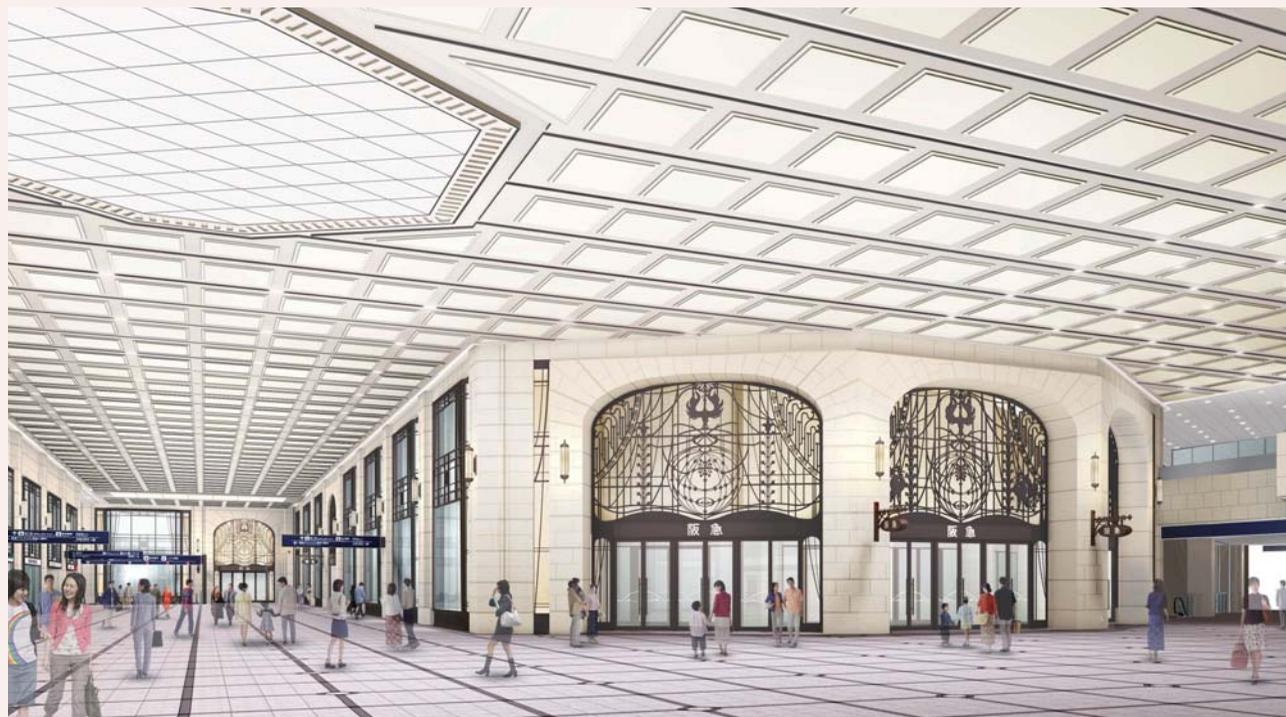
2012年度の予想につきまして改めてご説明いたしますと、営業収益及び営業利益は、東日本大震災の影響が収束することに加え、不動産事業において、マンション分譲戸数が増加することや、現在建替中の「梅田阪急ビル」において阪急百貨店がグランドオープンすること等により、増収・増益となる見込みです。

しかしながら、経常利益は、2011年度に持分法による投資利益が増加したこと等の反動等により、営業外収益が減少することから、減益となる見込みです。また、当期純利益は、法人税等調整額が増加すること等から、減益となる見込みです。

今後も、厳しい事業環境が続くことが想定されますが、当社では、グループ経営理念の下、「安心・快適」、そして「夢・感動」をお届けすべく、中長期的にグループ一体となって持続的な成長を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 阪急うめだ本店前コンコースが、 この秋、全面開通します

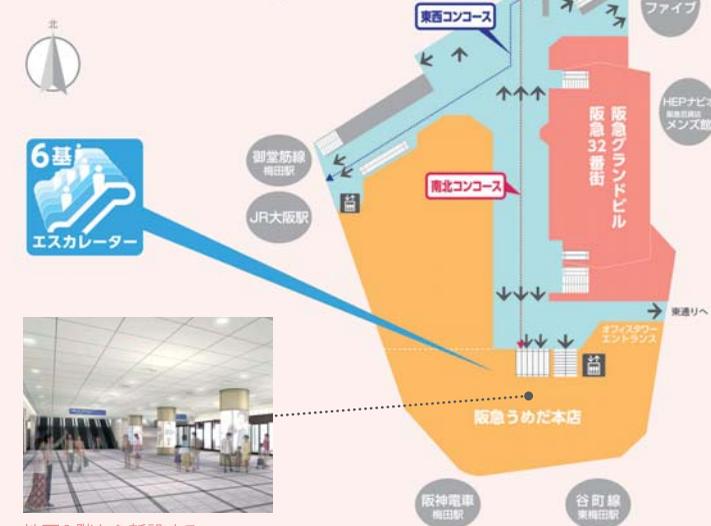


コンコース北側のオープンスペースから南方向を臨むイメージ

この秋、阪急うめだ本店前の南北・東西の両コンコースが全面開通します。コンコースは、阪急うめだ本店や阪急グランドビルの玄関に相応しい上質で開放的な空間に一新され、地上と地下1階をつなぐエスカレーター（8月に先行供用開始予定）やオープンスペースの設置等により、歩行者動線の利便性向上と賑わいの創出を図ります。また、東西コンコースの上部に、阪神百貨店やJR大阪駅方面を結ぶ歩道橋と接続する東西通路を新設します。エスカレーターとエレベーターを併設して地下1階～地上2階レベルでのバリアフリー化も実現し、西側方面への回遊性向上を図ります。

### ■ コンコースマップ

1F



地下1階から新設する  
エスカレーターを臨むイメージ  
(8月に先行供用開始予定)

### ■ アーチ型天井の建築・デザイン様式

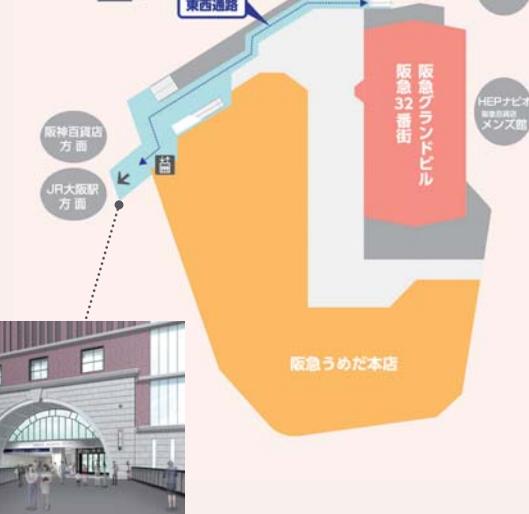


旧阪急うめだコンコース



新しい阪急うめだ本店の13階レストラン内のイメージ

2F



JR大阪駅方面と阪急うめだ本店  
(2階部分)の入り口接続部のイメージ

さらに、阪急百貨店が創業した1929年に完成した旧阪急うめだコンコースのアーチ型天井は、長らく大阪・梅田のシンボリックな空間として親しまれてきました。これからもお客様に往時の雰囲気ゆっくりと楽しんでいただけるよう、新しい阪急うめだ本店の13階に誕生する大型レストラン内に「アーチ型天井の建築・デザイン様式」の建築意匠を再現します。

# 新大阪阪急ビル まもなく完成

～新大阪駅北口通路の供用とレム新大阪の予約受付を開始します～



阪急電鉄では、新大阪駅北側で地上17階建て、延床約35,000m<sup>2</sup>の「新大阪阪急ビル」の竣工を7月末に迎えることになっています。このビルは、オフィスやホテルのほか、商業店舗、バスターミナルからなる複合ビルで、JR・地下鉄両駅に直結する利便性の高いビルです。8月22日には、ビルと両駅を結ぶビル内コンコースの供用を開始し、周辺地域とのアクセスが格段に向上することになります。



また、阪急阪神ホテルズでは、9月21日、同ビル内に「快眠」をコンセプトにした宿泊主体型ホテル『レム新大阪』をオープンし、これに先駆けて7月1日午前9時から予約受付を開始します。日比谷、秋葉原、鹿児島に続くレムブランドのホテルとして関西初出店となる同ホテルも、「もっと、よい眠りを」とのコンセプト

を追求し、客室全てに日本ベッド製造と共同開発したオリジナルベッド（シルキーレム）をご用意するほか、ユニットシャワーには天井から優しく降り注ぐレインシャワーを、客室内にはマッサージチェアを設置し、心地よい眠りと休息をサポートします。

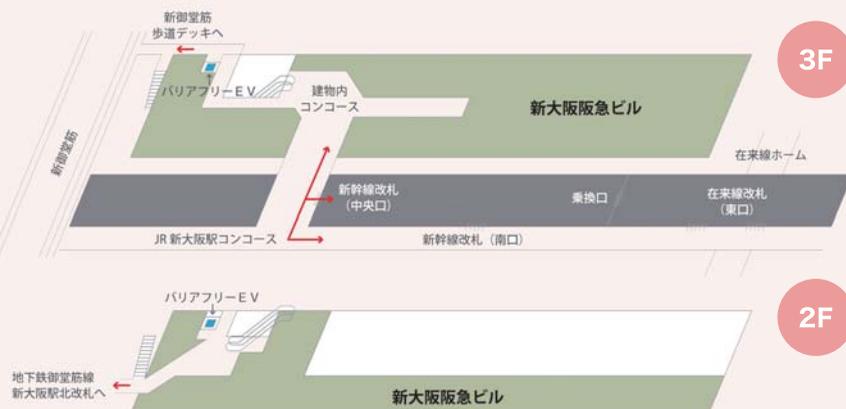


写真はいずれもイメージです

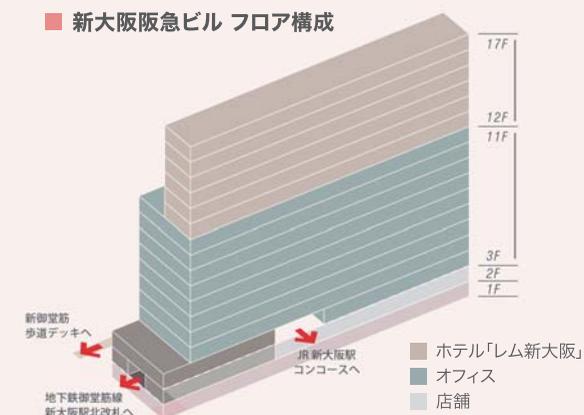
## ■ アクセスマップ



## ■ フロアマップ (2F・3F)



## ■ 新大阪阪急ビル フロア構成



## ■ レム新大阪 施設概要

所在地	大阪市淀川区宮原1丁目1番1号	
フロア構成	13～17階 客室各50室 12階 ホテルメインロビー、客室46室 3階 ホテルメインエントランス、朝食店舗	
客室数	296室	シングルルーム (14.4m <sup>2</sup> ) …255室 ツインルーム (20.6～22.8m <sup>2</sup> ) …41室
アクセス	JR「新大阪駅」・地下鉄御堂筋線「新大阪駅」直結 3階部分は東海道新幹線・JR在来線コンコースと直結 2階部分は地下鉄御堂筋線コンコースと直結	

お問い合わせ

レム新大阪 開業準備室  
TEL: 06-6372-5237

レムサイト (<http://www.remm.jp/>) をインターネット上に公開しています。株主の皆様も是非ご覧ください。

## 全駅にLED照明の導入を決定

■ 三宮駅



■ 梅田駅



■ ドーム前駅



■ 九条駅



阪神電気鉄道では、これまでLED照明を阪神なんば線の  
新駅等において意匠照明や補助照明として採用する  
とともに、梅田駅等に試験的に設置して信頼性や性能  
の検証を進めてきました。その結果、LED照明はホーム  
やコンコース等において必要な照度を十分確保でき、  
従来の照明と比較して約30%から50%の省エネ効果が  
あることが確認できたことから、今後の照明更新時  
に順次、阪神なんば線と神戸高速線を含む全49駅

のホームやコンコース、車庫等の鉄道関連施設に  
LED照明を導入することを決定しました。

当社グループでは従来からグループ全体で環境  
活動を推進しており、中でも都市交通事業では各駅  
の照明や信号機のLED化や省エネルギー車両の導入  
など、様々な環境負荷低減に向けて取り組んでいます。  
今後も環境にやさしい鉄道を目指して各種取り組みを  
継続していきます。

### ■ 今後の導入予定

2012年度	御影駅(ホーム)、石屋川駅(ホーム)、三宮駅(東改札口以外)、西元町駅(コンコース)、石屋川車庫
2013年度	福島駅(ホーム・コンコース)、淀川駅(ホーム・コンコース)、打出駅(ホーム)、新開地駅(ホーム・コンコース)、尼崎車庫
2014年度	姫島駅(コンコース)、武庫川団地前駅(ホーム・コンコース)、洲先駅(ホーム)、東鳴尾駅(ホーム)、高速神戸駅(ホーム・コンコース)

## 今話題のツアーを各種発売中



東京スカイツリー®

### ■ 東京スカイツリー見学ツアー



浅草寺 雷門

隅田川クルーズ



### ■ ロンドンオリンピック観戦ツアー



London 2012 Authorised Ticket Reseller for Japan



### ☎ ロンドンオリンピック観戦ツアー専用デスク ※番号のおかけ間違いのないようご注意ください。

#### ■ 東京専用デスク

T E L **03-6745-7370** F A X **03-6745-7371**  
受付時間 月～金 9:30～18:00 (土・日・祝はお休み)

#### ■ 大阪専用デスク

T E L **06-4795-5944** F A X **06-4795-5937**  
受付時間 月～金 10:00～17:30 (土・日・祝はお休み)

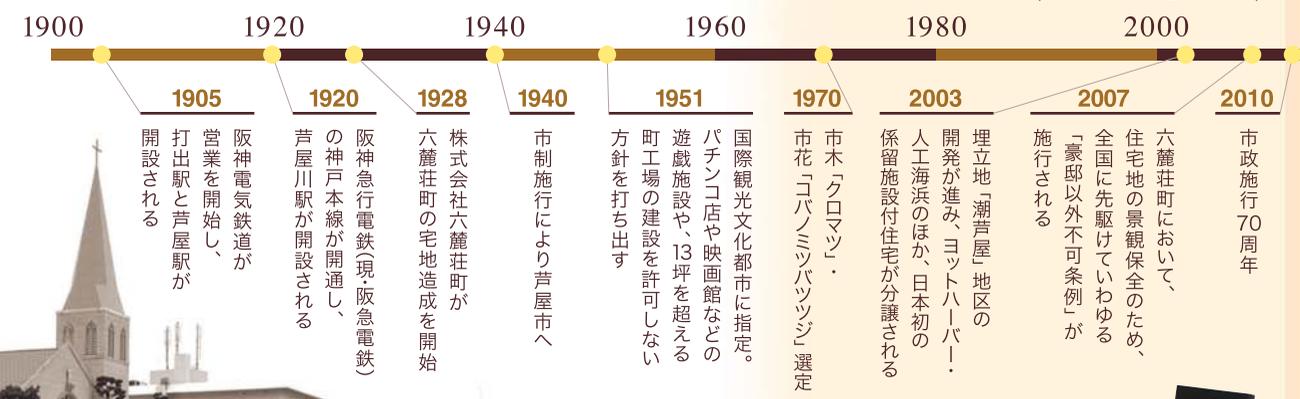
#### ■ 福岡専用デスク

T E L **092-761-8833** F A X **092-761-8666**  
受付時間 月～金 9:30～17:30 (土・日・祝はお休み)

※東京スカイツリー見学ツアーに関するお問い合わせについてはトラピックス、クリスタルハートの電話予約センターまでお問い合わせください。

阪急交通社では、5月22日  
にグランドオープンを迎えた  
東京スカイツリーの見学ツアー  
や、7月27日から17日間の  
日程で開催される「第30回  
オリンピック競技大会(2012  
/ロンドン)」の観戦ツアーなど、  
今話題のツアーを各種発売  
しています。

特に、ロンドンオリンピック  
観戦ツアーでは、日本オリン  
ピック委員会(JOC)公式旅行  
代理店として、日本人選手の  
活躍が期待される体操や柔道  
などの競技の観戦を中心と  
したコースをはじめ、競技の  
組み合わせを工夫することで  
限られた時間で、効率良く多  
くの競技を観戦できる商品な  
ど、バラエティに富んだツアー  
をご用意しており、オリンピック  
観戦をご希望のお客様から  
多くのお問い合わせをいただ  
いています。



〈連載コラム〉

# 歴史探訪

～阪急阪神沿線を訪ねて～

ときは移ろい  
街の姿は変わっても  
変わらない  
—— 焦がれる想い

# 芦屋

- ashiya -



**立地を活かした邸宅開発で芦屋ブランドが誕生**

大阪と神戸のほぼ中間に位置する芦屋。ここには南の海沿いから北の山手地区に向って、阪神・JR・阪急が東西に走る。この街は鉄道の開通や駅の設置とともに発展を遂げた。

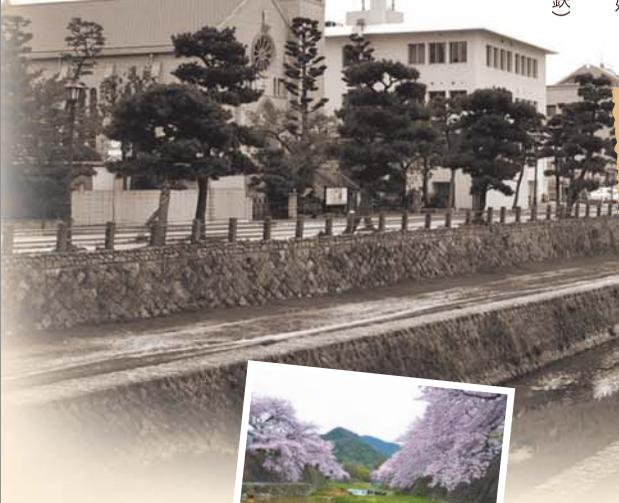
最初に開業したのは阪神電気鉄道で、1905年の開通と同時に打出駅と芦屋駅が設置された。続いて1913年にJR(当時国鉄)東海道本線(神戸線)

の芦屋駅が開業し、1920年には阪神急行電鉄(現在の阪急電鉄)神戸線が開通、芦屋川駅が設置された。阪急神戸線の開通により山手側の開発も進み、芦屋川駅の東北部にある六麓荘町では、駅から遠い立地を逆手に取って富裕層向けの豪邸が次々と完成。“高級住宅地・芦屋”の名を全国に広めることとなる。



高級住宅地、ハイセンスなお店、そして豊かな自然…。芦屋はいつの時代も“憧れの街”であり、“住んでみたい街”。

今回は、様々な文学作品の舞台としても登場するこの街を探索します。



**豊かな自然と閑静な街並みが調和7年連続で住んでみたい街第1位に**

この街は、住居、街に点在するレストランや洋菓子店、ブティックなどのハイセンスなお店と、歴史的建造物やモダンな洋館が見事に調和し、重厚感のある閑静な街並みを形成する。北から南へ清らかな流れを運ぶ芦屋川沿いのエリアは、上流に望む六甲山の緑とのコントラストが見事である。



このエリアは桜の名所でもあり、4月の桜祭りの時期には毎年多くの人で賑わう。モダンな街並みと豊かな自然の両面性を併せ持ち、しかも交通の利便性が高いことが芦屋の大きな魅力だろう。

このことは、大手不動産会社グループが実施する『マンショントレンド調査』結果にも表れている。芦屋は、その高級感や閑静な街並み、豊かな自然環境などから2005年の調査開始以来7年連続で“住んでみたい街”の1位となっているのだ。

**芦屋を愛した文化人 谷崎潤一郎 (1886-1965)**

東京生まれ。『刺青』『痴人の愛』など美や性に溺れる官能世界を描く耽美的作風に新たな境地を拓く。関西移住後、古典的・日本の美意識を深めた作品を手がけ、芦屋を舞台にした『細雪』は松子夫人とその妹たちとの生活を題材にした大作。代表作に『春琴抄』『蓼食う虫』『鍵』『潤一郎訳源氏物語』などがある。

写真:芦屋市谷崎潤一郎記念館所蔵

(谷崎潤一郎ゆかりの品々)

**文学作品の舞台としても登場 文化的でより魅力ある豊かな街へ**

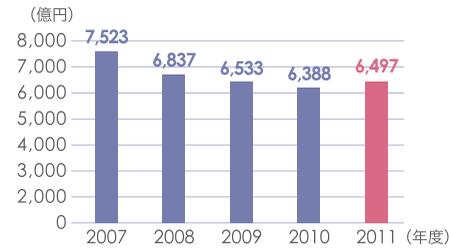
芦屋は、様々な文学作品の舞台としても登場する。1934年から1936年までの3年間に芦屋で過ごした文豪・谷崎潤一郎は、代表作『細雪』に当時の街の様子を描写している。市内の『芦屋市谷崎潤一郎記念館』には自筆原稿や書簡等約12,000点が所蔵され、谷崎文学の世界に触れることができる。

薫り高い口マン溢れる文化を輩出しつづける街、芦屋。これからも芦屋は人々が住んでみたい街であり、憧れの街であり続けるだろう。

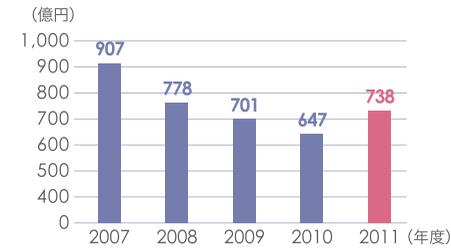
■ 2011年度決算のポイント

- POINT 1 ▶ 営業収益、営業利益は、不動産事業においてマンション分譲戸数が前年度を上回ったこと等により増収・増益
- POINT 2 ▶ 経常利益は、持分法による投資利益が増加したこと等により増益
- POINT 3 ▶ 当期純利益は、税制改正に起因する繰延税金資産・繰延税金負債の取り崩しに伴い、法人税等調整額が減少したこと等により増益

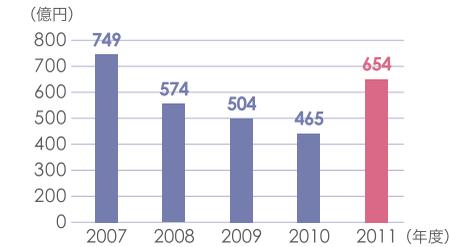
■ 連結営業収益



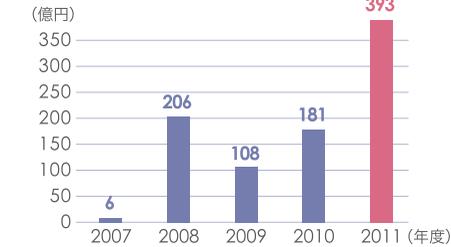
■ 連結営業利益



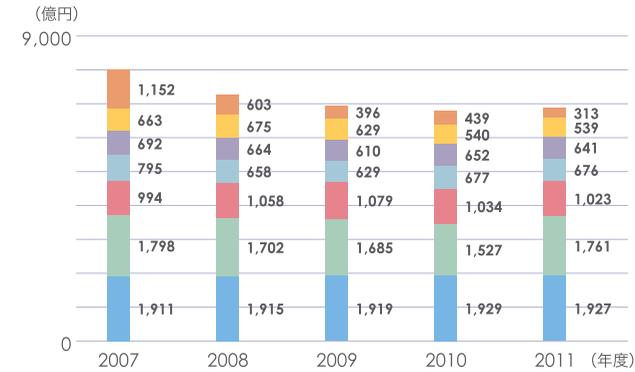
■ 連結経常利益



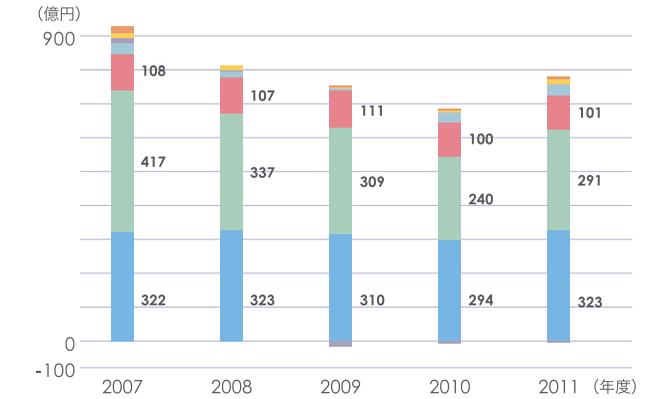
■ 連結当期純利益



■ セグメント別営業収益



■ セグメント別営業利益



■ 都市交通 ■ 不動産 ■ エンタテインメント・コミュニケーション ■ 旅行・国際輸送 ■ ホテル ■ 流通 ■ その他

(注) 各年度の数値はマネジメント・アプローチ適用後の予想値・実績値 (2009年度以前の実績値もマネジメント・アプローチを適用した換算後の数値に修正)

■ 連結貸借対照表

- ▶ 資産合計は、減価償却費の計上等で有形固定資産が減少したこと等により減少
- ▶ 負債合計は、有利子負債が減少したこと等により減少
- ▶ 純資産合計は、利益剰余金の増加等により増加し、自己資本比率は22.6%に

連結貸借対照表 [資産]			
科目	2011年度末	対前年度末比較増減	備考
[資産の部]			
流動資産	275,286	△ 10,551	販売土地及び建物の減少
固定資産	1,999,093	△ 29,738	有形・無形固定資産の減少
<b>資産合計</b>	<b>2,274,380</b>	<b>△ 40,289</b>	

連結貸借対照表 [負債/純資産]			
科目	2011年度末	対前年度末比較増減	備考
[負債の部]			
流動負債	567,043	19,816	
固定負債	1,182,535	△ 97,959	
負債合計	1,749,578	△ 78,143	負債合計は、有利子負債が減少したこと等により減少
[純資産の部]			
株主資本	521,421	32,692	当期純利益 +39,252 支払配当 △6,334
その他の包括利益累計額	△ 8,128	4,798	
新株予約権	32	32	
少数株主持分	11,476	331	
純資産合計	524,801	37,854	
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,274,380</b>	<b>△ 40,289</b>	

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主メモ



## 株主優待情報

(2012年6月現在)

優待内容 優待 基準株数	証券株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)	株主優待乗車証 (全線バス)	グループ 優待券
1~999	—	—	1冊
1,000~2,399	4回カード×1枚 (4回乗車分)	—	
2,400~4,999	4回カード×3枚 (12回乗車分)	—	
5,000~9,999	25回カード×1枚 (25回乗車分)	—	
10,000~30,999	30回カード×2枚 (60回乗車分)	—	
31,000~48,999 ※①②のいずれかを選択	① 30回カード×2枚 (60回乗車分) ② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線バス1枚	
49,000~79,999 ※①②のいずれかを選択	① 10回カード×1枚 (10回乗車分) ② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線バス1枚 阪神電車全線バス1枚	
80,000~999,999	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線バス1枚 + 阪神電車全線バス1枚	
100万以上	10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線バス10枚 + 阪神電車全線バス10枚	

1) 阪急電車全線バスの通用区間：阪急電車線全線（神戸高速線を除く） 2) 阪神電車全線バスの通用区間：阪神電車線全線（神戸高速線を除く）  
3) 共通回数カードの通用区間：阪急電車線及び阪神電車線全線（いずれも神戸高速線を除く） 4) グループ優待券：入場券、宿泊・飲食割引券、旅行割引券、その他の特別優待券など  
5) グループ優待券のご利用範囲につきましては券面をご参照ください。 6) 優待につきましては、9月30日、3月31日株主名簿に基づき、それぞれ11月下旬、5月下旬に発送いたします。（年2回）

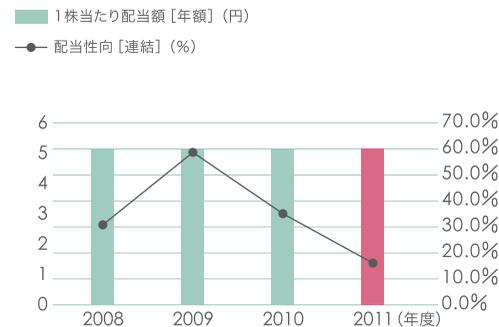
## 配当情報

### [ 配当政策 ]

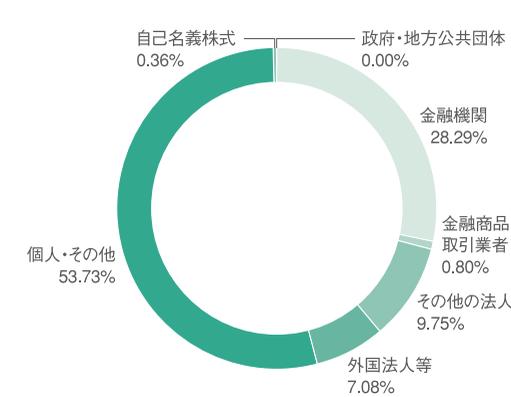
当社は、経営基盤と財務体質の強化に努めながら、年間で1株につき5円を下限とする安定的な配当を実施していくことを基本方針としています。

2011年度の剰余金の配当については、基本方針に従い、1株当たり5円となりました。また、内部留保資金の用途については、各コア事業の競争力強化を図るための資金需要に備えるとともに、財務体質の強化に充てていきます。

## 配当性向



## 所有者別株式分布状況



## 決算期

3月31日

## 定時株主総会

6月

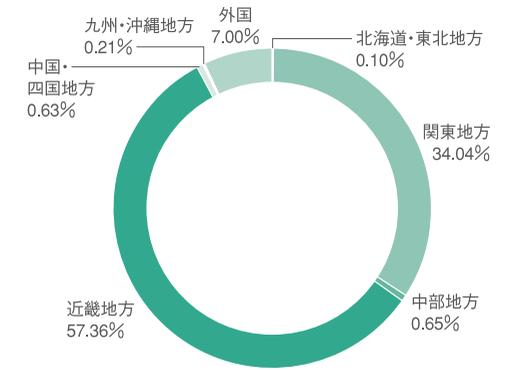
## 基準日

定時株主総会  
権利行使株主確定日 3月31日  
期末配当金受領株主確定日 3月31日

## 単元株式数

1,000株

## 地域別株式分布状況



## 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社

## 同連絡先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
TEL. 0120-094-777 (通話料無料)

## 公告方法

電子公告  
(但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載)  
電子公告掲載 URL: <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/ir/>

## 株主優待(グループ優待券)の内容の一部変更について(お詫び)

宝塚ガーデンフィールズ内ベーカーリーレストラン「モビーディック+Wan」が2012年4月27日に閉店いたしましたので、グループ優待券中「宝塚ガーデンフィールズ レストラン・ショップ割引券」(P.9~10)の対象店舗は、中国名菜「龍坊(ロンファン) 宝塚」・イタリアンレストラン「イゾラベッラ オペレッタ ア タカラヅカ」の2店舗となっております。

優待券作成事務との関係上、上記変更を券面に反映できず、株主様にはご迷惑をおかけいたしますが、あしからずご了承ください。  
[お問合せ：株式会社 阪急アミューズメントサービス(代表) TEL.0797-61-4013]

## 株主のお手続きに関するお問い合わせ先

手続きの内容	株式口座の開設先	証券会社	特別口座(※)
住所変更、単元未満株式買取請求・買増請求等の各種お手続き		口座開設先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関) 大阪証券代行部 TEL. 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座から証券会社の口座への振替請求		—	

※2009年1月5日の株券電子化時に、株券をお手元に保管されていた株主様の株式(登録株を含む。)につきましては、特別口座で管理されております。特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振替いただくことができます。三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までお問い合わせください。